

全国社会教育職員養成研究連絡協議会（社養協）

2020年度 総会・研究大会のご案内

社会教育士への期待

～社会教育主事養成課程の新たな展開の方向を探る～

報告：

「札幌市生涯学習センター指定管理者が期待する社会教育士」

南部大樹(札幌市生涯学習センター事業課長・(公財)札幌市生涯学習振興財団)

「ジェンダー視点をもった社会教育士への期待」

菅原亜都子(札幌市男女共同参画センター係長・(公財)さっぽろ青少年女性活動協会)

「青少年活動施設運営における社会教育士への期待」

水野篤夫((公財)京都市ユースサービス協会調査研究担当シニアユースワーカー)

司会：内田和浩(北海学園大学)・出川真也(大正大学)

日時：2020年5月16日(土) 15:00 - 18:00

* 総会：14:00 - 14:50

会場：①北海学園大学 7号館2階D20教室(北海道の方のみ)

②Web会議システムを利用したオンライン参加

2020年度からの制度改革により、社会教育主事課程を修了した者は「社会教育士」の称号を名乗ることができるようになる。そのことによって社会教育主事養成に新たな展開が求められるところです。

この背景から、今回の研究大会では「社会教育士」の称号を得た者の活躍の場としての公共の社会教育関連施設に焦点をあて、指定管理者である各団体が、例えば職員採用において社会教育士についてどのような考えをもっているか、社会教育の素養をもった人材が団体のなかでどのような活躍をされているか、またなぜそのような人材が今後も期待されるのかなどを明らかにしていきたいと考えました。

報告では、地元札幌市の生涯学習施設の指定管理者(札幌市生涯学習振興財団)、男女共同参画施設の指定管理者(さっぽろ青少年女性活動協会)からご報告をいただくとともに、本協会の理事でもある京都市ユースサービス協会の水野篤夫氏より、青少年活動支援施設の指定管理者の立場からご報告をいただく。3報告をふまえ、社会教育主事課程の新たな展開の方向を議論したいと思います。

現職の社会教育主事の方々にも多くご参加いただき、社会教育士の職能団体の可能性にも議論が展開されることを期待します。ぜひご参集ください。

【申込み・参加方法】

- ・ 事前の参加申し込みが必要です。

申し込み先：shayosei@outlook.com

件名を「社養協 2020 年度研究大会申込み」とし、本文に氏名、所属、メールアドレス、参加方法 (①・②) を記入してご連絡ください。

- ・ ①については北海道在住者のみ参加できます。道内在住者であっても、発熱等体調が不安な方はオンライン参加をお願いいたします。
- ・ ②オンライン参加の方は、インターネットに接続できる機器 (パソコン、スマートフォン、タブレット等) を各自ご準備ください。詳しい参加方法を後日メールでご連絡いたします。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、予定が変更となる可能性があります。社養協ホームページで通知いたしますのでご確認ください。

【会場へのアクセス】

地下鉄東豊線「さっぽろ」駅から福住行きに乗車し、「学園前」駅下車。
3番出口直結。[乗車時間「さっぽろ」駅から6分、210円]



〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4丁目 1-40

【問い合わせ先】

全国社会教育職員養成研究連絡協議会(社養協)事務局

TEL&FAX 042-329-7353 Email shayosei@outlook.com

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学総合教育科学系 倉持伸江研究室